

タッチパネル PC

LT-H0307C シリーズ ユーザーズマニュアル

Logitec

目次

本書をお読みいただく前に・取り扱い上のご注意	3
注意事項	10
1. 本体と付属品の確認	13
2. 各部の名称と役割	14
3. 基本操作	18
4. 目的に応じて設定を変更する	24
5. アプリケーションを使用する	33
6. トラブルシューティング	42
7. 仕様	43

■本書をお読みいただく前に

本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

- 本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管してください。
- 本書の内容の一部又は全部を無断で複製・転載することを禁止させていただきます。
- 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、当社テクニカル サポートまでご連絡願います。
- 本書に記載されている機種名やソフトウェアのバージョンは本書作成時の情報です。最新情報については、当社テクニカルサポートへお問い合わせください。
- 本書に記載の内容は、改良などのために予告なく変更する場合があります。
- 本書に基づいて運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、当社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で指定された設定以外にした場合、動作保証外となる場合があります。
- 本書及びリカバリーディスクは、日本語表示を基本にしています。
Sorry. A RecoveryDisc and this reference manual are available in Japanese only.

■取扱い上のご注意

●本製品を正しく安全に使用するために

本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

●表示について

この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



危険

◀この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる可能性がある項目です。



警告

◀この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

◀この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



◀三角のマークは、何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



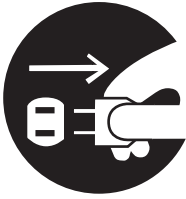
◀丸に斜線のマークは、何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



◀塗りつぶしの丸のマークは、何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源ケーブルをコンセントから抜かななければならないことを意味します。



警告



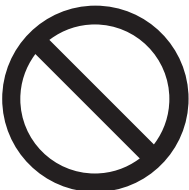
●本製品から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社テクニカルサポートにご相談ください。



●本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水や油などの液体が入らないように注意してください。故障・感電・火災の原因となります。
※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り当社テクニカルサポートにご相談ください。



●本体の上に重量物を置かないでください。故障の原因となります。



●高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所、ほこりの多い場所での使用や保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって感電・故障・火災の原因となります。



●本製品には正弦波以外で出力される電源（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。火災の原因となります。



●電源ケーブル・AC アダプター・充電器は必ず製品仕様に合わせた正しい電源電圧のコンセントに接続してください。火災・故障の原因となります。

警告



●電源ケーブル・AC アダプター・充電器は破損しないように十分ご注意ください、コネクターはしっかりと差し込んで使用してください。ケーブル部分を持って抜き差しすると、断線や被覆が破れて感電や火災の原因となります。



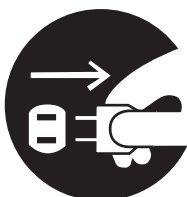
●電源ケーブル・AC アダプター・充電器のケーブルは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねたり、ケーブルの上に物を乗せた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



●電源ケーブル・AC アダプター・充電器は必ず製品添付か当社指定の物をご使用ください。また、本製品に付属の電源ケーブル・AC アダプター・充電器を他の製品に使用しないでください。火災や故障の原因となる可能性があります。



●電源ケーブル・AC アダプター・充電器はなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災や感電の原因となります。



●本体を長期間使用しない場合は、電源ケーブル・AC アダプター・充電器のプラグをコンセントから抜いておいてください。火災や故障の原因となります。



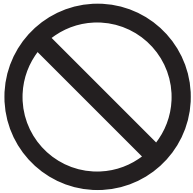
●各コネクターとの接続を間違わないようご注意ください。誤ったコネクターや向きを間違えて無理に差し込みますと破損や故障の原因となります。



●本製品は静電気に影響を受ける部品が搭載されています。コネクターの接点部分やポートなどに素手で触れないでください。故障や誤動作の原因となります。



●本製品を引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。火災の原因となります。



●本製品を油煙や腐食性ガスが発生する環境で使用・保管しないでください。故障の原因となります。



●本製品を高温または低温環境下で使用した後に触れる際には手袋などを使用して触れる様にしてください。けがややけどの原因となります。



●動作温度範囲内であっても、急激な温度変化にさらさないでください。故障の原因となります。



●梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。



●濡れた手で本製品を扱わないでください。感電の原因となります。

警告



●設置や移動の際は本製品を両手で持ち、足元へ落とさないようにご注意ください。



●本製品を使用する場合には正しい向きで設置してください。転倒により、ケガの原因や本製品の破損の原因となります。



●本体の通風孔をふさがないでください。過熱による火災や故障の原因となります。



●本製品の使用中や使用直後は本体の高温部や電源ケーブル・ACアダプター・充電器に長時間触れないでください。やけどや低温やけどの原因となります。



●本製品は絶対に分解・改造しないでください。感電や故障の原因となります。分解の必要が生じた場合は当社テクニカルサポートにご相談ください。



●液晶ディスプレイが割れた場合、画面や破片を素手で触らないでください。けがの原因となります。万が一手に液体が付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。目に入った場合は大量の流水で洗浄し、医師に相談してください。また、液晶ディスプレイが割れた状態で使い続けしないでください。



注意



●本体の強制電源断（電源スイッチの長押し・リセットボタンの使用・電源タップによる電源 OFF 等）は、本体がフリーズして反応がない場合にのみ使用ください。むやみに使用すると動作不良やデータ消失の原因となります。また、この操作で日付・時刻がずれる場合があります。



●本製品を継続してご使用になる場合には、定期的なデータのバックアップを行ってください。



●本体の電源を一度 OFF(切) にした時は 30 秒以上経過してから ON(入) にしてください。誤動作などの原因となります。



●本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。（本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形や変色の原因となります。



●本製品には、有寿命品が含まれております。液晶パネル・バックライト・タッチパネル・コンデンサ・AC アダプター等の経時による劣化（輝度の変化・色の変化・輝度と色の均一性の変化・焼き付き・欠点の増加・感度低下・機能低下など）生じた場合は、保証期間でも有償修理となります。



●本製品には、バッテリーなど消耗品が含まれています。消耗品は使用環境・使用時間・時間の経過に伴って劣化・消耗し、動作が不安定になる原因となります。本製品を安定してお使い続けていただくためには、一定の期間で消耗品の交換が必要です。なお、交換した消耗品を廃棄する際は、地域の法令や条例に従って処分してください。



注意



●本製品は、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用や保管は避けてください。故障の原因となります。また、本製品が振動により落下することでけがの原因となります。



●本製品をラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くに強い電磁波を発生する装置がありますと本製品が誤動作する可能性があります。必ず離してご使用ください。



●本製品を使用して、サウンドを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害をもたらす原因となります。特にヘッドホンを使用する場合は、必ず最初にヘッドホンを耳から離れた状態で音量を確認してください。

■製品を正しく使用するために

- 本製品の仕様、デザイン等は、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。
- 本製品を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、当社ではいかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存したデータについては、理由を問わず一切の保証はいたしかねます。誤操作、落雷などの自然災害、経年劣化や不慮の事故等による製品故障に備え、重要なデータはあらかじめバックアップ（データの複製）をお願いします。
- 本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、当社ではいかなる責任も負いかねます。
- 本製品の仕様は、搭載されたハードウェア・ソフトウェアの機能が全て使用できる事を保証するものではありません。また、本製品に接続した全ての機器の動作を保証するものではありません。
- 本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関して当社ではいかなる責任も負いかねます。また当社では海外使用に関するサービス・サポートは一切行っておりません。
- 通風孔や、各コネクタのチリ・ホコリ等は定期的に取り除いてください。
- 本製品の寿命は1日8時間、1週間5日稼働で約5年です。

■お問い合わせ窓口

技術的なお問い合わせ（テクニカルサポート）、修理受付窓口に関しては、製品添付の保証書に記載されています。

■保証と修理について

- 本製品には保証書が添付されています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間は保証書に記載されています。ご購入日より有効です。
- 修理を依頼される場合、修理品については、当社修理受付窓口にお送りいただくかお求めいただいた販売店へご相談ください。故障かどうか判断がつかない場合は、当社テクニカルサポートにお問い合わせください。
- 保証期間中の修理につきましては、保証書に記載の規定に従い修理いたします。保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有償修理しています。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品確保等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品出荷後3年間です。（保有期間内でも、互換パーツでの修理や修理に代わって同等品へ交換する場合があります。）

■ 本製品使用上のご注意

- 高温環境で継続的に使用すると製品寿命が短くなります。
- 本製品は経年劣化や設置場所により、色落ち・変色等が発生する可能性があります、製品の使用に影響ありません。
- 本製品は以下の温度条件下でご使用ください。
 - 動作環境温度：0℃～40℃
(湿度 20%～85% ただし結露しないこと)
※熱のこもる環境で使用しないでください
 - 保存環境温度：-10℃～50℃
(湿度 10%～85% ただし結露しないこと)
- 本製品の設置に関してはエアフロー（空気流：0.5m/s）のある環境での設置を前提としています。密閉された空間などへの設置は控えてください。
- オプション品の取付や本体の固定でネジを使用する際は、マニュアルに記載のネジ径で、ネジ穴深さを超えない長さのネジを使用してください。ネジ穴深さを超えるネジを使用するとネジが本体内に突き抜け、破損する可能性があります。十分にご注意ください。
- オプション品の取付や本体の固定でネジを使用する際は、マニュアルに記載の推奨トルク値で締め付けてください。締付トルクが弱い場合は本体の脱落の可能性があります。また、締付トルクが強すぎる場合は本体を破損する可能性があります。十分にご注意ください。
- 液晶ディスプレイは、膨大な数の薄膜トランジスタで構成されています。画面上で少数のドットの欠落、変色、発光が見られる事もありますが、これは、液晶技術に起因するもので、製品自体の欠陥によるものではありません。
- 本製品の液晶ディスプレイには極力直射日光が当たらない様にご注意ください。液晶画面に強い紫外線が長期間照射されると液晶画面に変質が発生する可能性があります。
- 本製品を消毒・清掃するには以下の薬剤を柔らかい布にしみこませ、本体を拭う様にして消毒してください。また、薬剤の使用に関しては、当該薬剤の使用用途・注意事項をご確認のうえ、ご使用ください。
 - ・イソプロピルアルコール（70%）
 - ・エタノール（75%）

■ 廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

本製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

- 本製品を廃棄する際、内蔵ストレージに記録されたお客様のデータが再利用され、重要なデータが読みとられ、予期しない用途に使用される恐れがあります。
- 内蔵ストレージに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。
- 本製品に記録されたソフトウェアを消去することなく本製品を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

これらより、内蔵ストレージ上のデータが第三者に流出することがないように廃棄時には全データの消去の対策をお願いいたします。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはデータ消去サービス（共に有償）を利用するか、搭載された記憶装置を物理的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

■ 電波に関する注意事項

本製品で使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、当社テクニカルサポートまでご連絡いただき、混乱回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事態が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは当社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

法令により、無線 LAN の 5GHz 帯の 5.3GHz 帯、及び 6GHz 帯を屋外で使用することは禁止されています。5.2GHz 帯は条件付で屋外使用が可能です。

■ 電波障害自主規制について（VCCI- クラス A）

この装置は、クラス A 機器です。

この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

マニュアル中の表示について

本製品を使用するにあたり役に立つ情報の提供や、ハードウェアの破損、故障の可能性の警告のため、次の「メモ」、「重要」、「注意」の 3 つの記載が本マニュアルでは使用されています。



メモ

役に立つ情報を記載しています。



重要

知っておいただきたい重要な情報を記載しています。



注意

ハードウェアの破損、故障の可能性があることや、問題を回避する方法を説明しています。

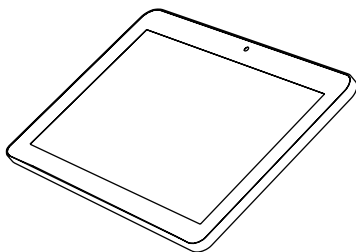
1. 本体と付属品の確認

本体と標準付属品が揃っていることを確認してください。

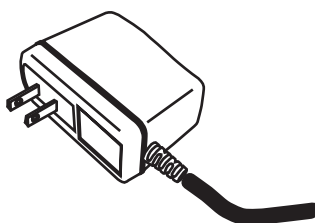
万一、足りないものがあったり、破損しているものがあった場合は、販売店または弊社サポート窓口までご連絡ください。

本体と標準付属品一覧

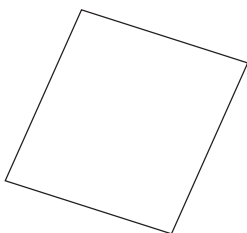
- 本体



- AC アダプタ (本体に取付済)



- 保証書



メモ

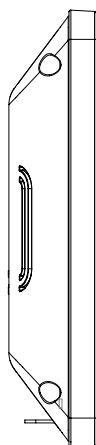


本製品でタッチパネル可能な操作は USB マウスでも操作可能です。マウスによる操作の場合、操作内容の「タップ」は「クリック」、「ダブルタップ」は「ダブルクリック」と置き換えてお読みください。

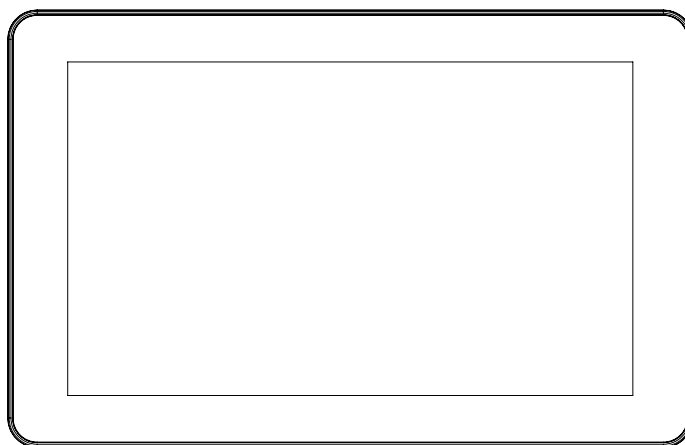
2. 各部の名称と役割

外観仕様

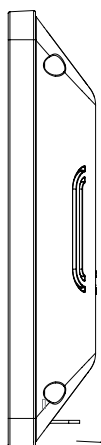
左側面



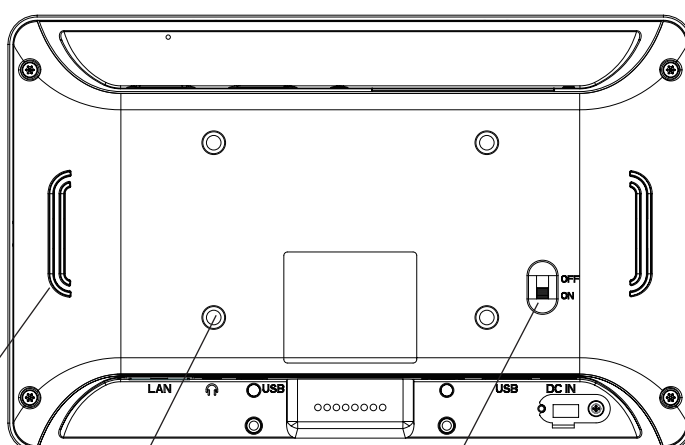
正面



右側面



正面

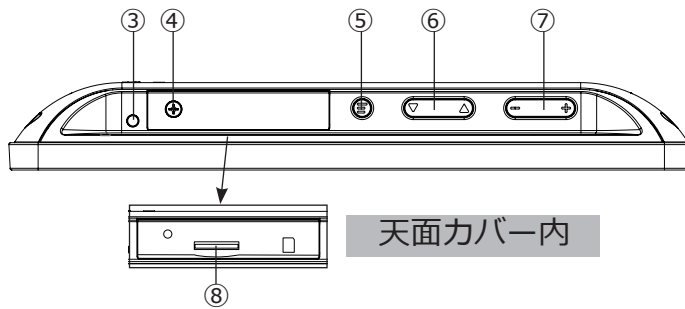


スピーカー

①取付穴 (75 × 48 mm)

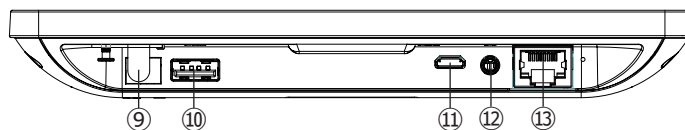
②電源スイッチ

天面



天面カバー内

底面

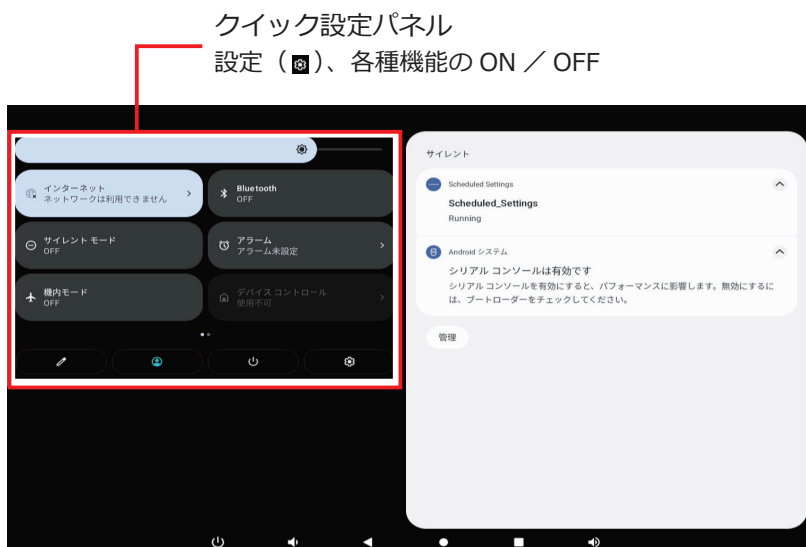
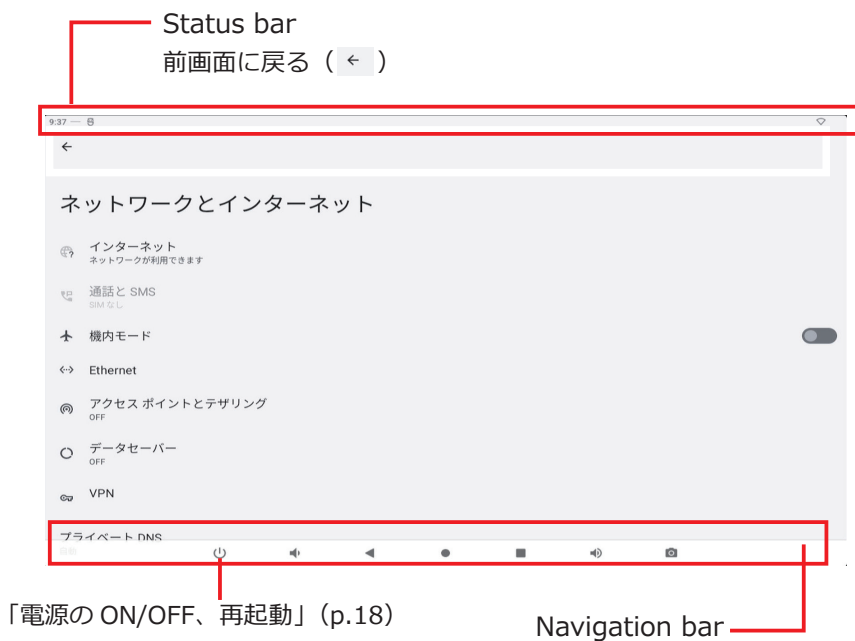


番号	名前	説明
①	取付穴	本体を固定する場合、4 箇所の取付穴の内、2 箇所以上を使用してネジ止めしてください。 M4 ネジ使用、ネジ穴深さ 5.5mm、推奨トルク値 0.59N・m
②	電源スイッチ	製品の電源を ON/OFF します。
③	電源ランプ	電源 ON で青色ランプが点灯、電源 OFF で消灯
④	天面カバー取外しネジ	天面カバーが固定されています
⑤	EXIT ボタン	BACK ボタンの役割を行います。
⑥	上下ボタン	メニュー操作の Up、Down を行います。
⑦	ボリュームボタン	音量の調節を行います。
⑧	micro SD カードスロット	SD/SDHC (最大 32GB) の micro SD カードを装着します。
⑨	電源コネクタ	専用 AC アダプタを接続します。
⑩	USB Type-A コネクタ	USB2.0 準拠、USB デバイスが接続できます。
⑪	USB micro-B コネクタ	USB2.0 準拠、PC 等と接続できます。
⑫	ヘッドセット端子	ヘッドセット、スピーカーが接続できます。
⑬	LAN コネクタ	1000BASE-T 準拠、ネットワークに接続します

画面の説明

画面の操作に使う、「Status bar」、「Navigation bar」、「クイック設定パネル」「設定」画面について説明します。

「Status bar」、「Navigation bar」、「クイック設定パネル」

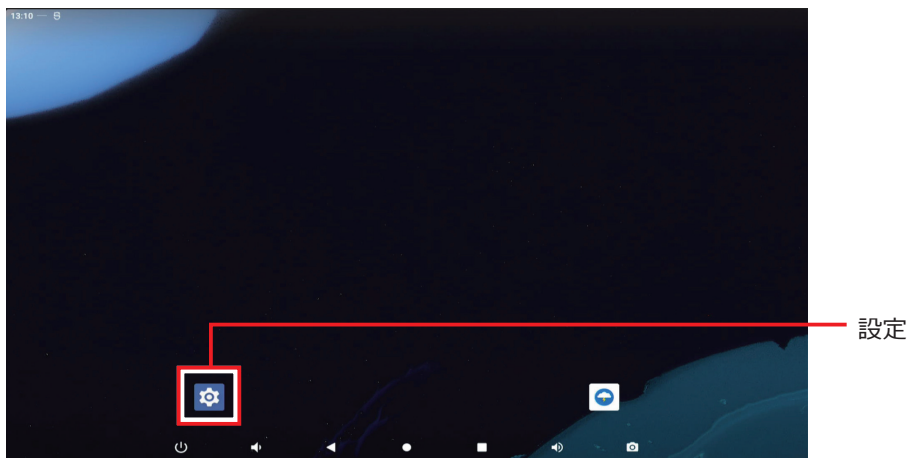


メモ

「Status bar」、「Navigation bar」、「クイック設定パネル」を非表示にする方法は、「Hide Status Bar 機能」(p. 31)を参照してください。

「設定」画面を開く

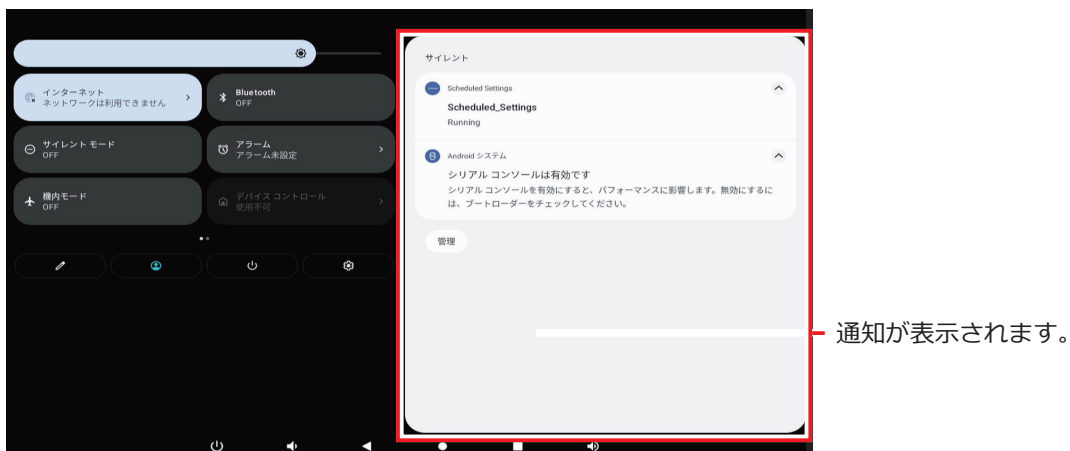
NavigationBar の「●」をタップし、デスクトップ画面が表示された状態で  アイコンをタップします。



通知を確認する

次に、通知の確認方法を説明します。

1. 画面上部を下向きにスライドします。
クイック設定パネルが表示されます。
2. クイック設定パネルの下部に表示される「通知」を確認します。



通知がない場合は表示されません。



メモ

クイック設定パネルの「通知を非表示」をタップすると、通知が非表示になります。

3. 基本操作

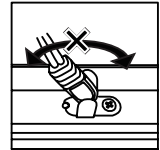
電源の ON/OFF、再起動

本機は専用の AC アダプタと接続することによって動作します。本機の電源 ON / OFF、Reboot(再起動) は次の手順で行います。



注意

電源コネクタ部に過度の負荷が加わると故障の原因になりますので必要以上に回転させないでください。



電源を入れる【電源 ON】

電源スイッチを ON の位置に切り替えます。電源ランプが点灯し、起動画面が表示されます。

電源を切る【シャットダウン】

電源を切るには 3 種類の方法があります。

■ EXIT ボタンで電源を切る場合

1. EXIT ボタンを 5 秒以上長押しして表示されるメッセージウインドウから「電源を切る (🔌)」をタップします。
2. 画面と電源ランプが消えたら、電源スイッチを OFF の位置に切り替えます。



■ Navigation bar から操作する場合

1. Navigation bar の「電源ボタン」をタップして、表示されるメッセージウインドウから「電源を切る (🔌)」をタップします。
2. 画面と電源ランプが消えたら、電源スイッチを OFF の位置に切り替えます。

■ Digital signage option メニューから操作する場合

1. 「設定」→「システム」→「Digital signage options」→「Power Off Management」の順にタップします。
2. 表示されるメッセージウインドウから「電源を切る (🔌)」をタップします。
3. 画面と電源ランプが消えたら、電源スイッチを OFF の位置に切り替えます。



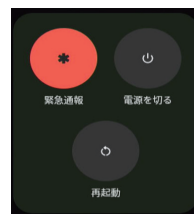
シャットダウンが完了する前に本機からアダプタを抜かないでください。故障する恐れがあります。

再起動する【Reboot】

再起動するには3種類の方法があります。

■ EXIT ボタンから操作する場合

1. EXIT ボタンを5秒以上長押しして表示されるメッセージウインドウから「再起動 (🔄)」をタップします。
2. 再起動が実行されます。画面が暗くなった後すぐに起動画面が表示されます。



■ Navigation bar から操作する場合

1. Navigation bar の「電源ボタン」をタップして、表示されるメッセージウインドウから「再起動 (🔄)」をタップします。
2. 再起動が実行されます。画面が暗くなった後すぐに起動画面が表示されます。

■ Digital signage option メニューから操作する場合

1. 「設定」→「システム」→「Digital signage options」→「Power Off Management」の順にタップします。
2. 表示されるメッセージウインドウから「再起動 (🔄)」をタップします。
3. 再起動が実行されます。画面が暗くなった後すぐに起動画面が表示されます。



再起動実行中に本機からアダプタを抜かないでください。故障する恐れがあります。

出荷時の状態に戻す

内部ストレージの全データを消去し、出荷時の状態にリセットします。

タブレットのリセット【データの初期化】



注意

システムやアプリのデータと設定、ダウンロードしたアプリ、音楽、画像、他のユーザーデータを含む内部ストレージの全データが消去されます。バックアップが必要なデータはあらかじめ USB デバイスや SD カードに保存してください。

1. 「設定」→「システム」→「リセットオプション」をタップします。
2. 「全データを消去 (出荷時リセット)」をタップします。



3. 「すべてのデータを消去」をタップします。



出荷時設定にリセットされ、再起動します。

タブレットのリセット【データの初期化】

端末の設定アプリを開くことができない場合は、電源スイッチとボリュームボタンを使用して出荷時の設定にリセットすることができます。

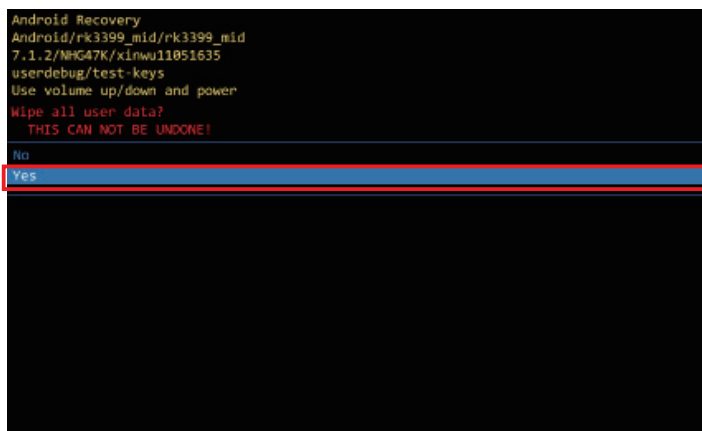
1. 本体天面のボリュームボタン (+) を押しながら電源スイッチを ON に切り替え、本機を起動します。10 秒程度長押しすると Android Recovery の画面が表示されます。
2. 「Wipe data/factory reset」を選択した状態で EXIT ボタンを 5 秒～8 秒程度長押しします。(4 秒以下、8 秒以上の長押しは反応しません。)



本体天面の上下ボタン、ボリュームボタンで選択箇所を移動できます。

メモ

メッセージ画面が表示されます。



3. 「Yes」を選択した状態で EXIT ボタンを 5 ～ 8 秒程度長押しします。(4 秒以下、8 秒以上では反応しません。)

再び Android Recovery の画面が表示されます。

4. 「Reboot system now」を選択した状態で EXIT ボタンを 5 ～ 8 秒程度長押しします。
(4 秒以下、8 秒以上では反応しません。)

```
Android Recovery
Android/rk3399_wild/rk3399_wild
7.1.2/NH647K/xinmu11051635
userdebug/test-keys
Use volume up/down and power

Reboot system now
Reboot to bootloader
Apply update from ADB
Apply update from SD card
Wipe data/factory reset
Wipe cache partition
Mount / system
View recovery logs
Run graphics test
Power off

Supported API : 3
-- Wiping data
Formatting /data...
Formatting /cache...
Data wipe complete.
```

出荷時設定にリセットされ、再起動します。

外部ストレージのフォーマット

USB メモリや SD カードなどの外部ストレージをフォーマットします。

本製品で USB メモリまたは SD カードをフォーマットする



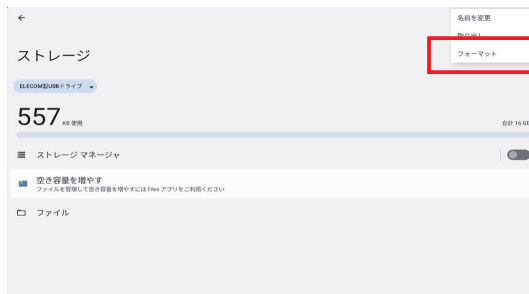
注意

フォーマットを実施するとストレージ内のデータが全て消去されます。必要なデータが保存されている場合は必ずバックアップをしてからフォーマットを実施してください。

1. USB メモリまたは SD カードを本製品にセットします
2. 「設定」→「ストレージ」を開きます
3. 「このデバイス▼」の部分をつタツプして装着したデバイス（DISK）に切り替えます



4. 右上の「:」をつタツプし、「フォーマット」を選択します。



5. 「この<デバイス名>のフォーマット」というメッセージが表示されますので「<デバイス名>をフォーマット」をつタツプします
6. フォーマットが完了すると「<デバイス名>を使用でできるようになりました」と表示されますので「完了」をつタツプします。



注意

本瀬品は exFAT に対応していないので、exFAT でフォーマットされたでストレージが接続されると「破損されているデバイス」と認識され、以下のようなメッセージが表示されます。本製品で exFAT でフォーマットされたデバイスを使用する際は他の PC でデータをバックアップしたうえで本機能で再フォーマットしてください

4. 目的に応じて設定を変更する

スリープ状態からの復帰方法の設定【Enable touch wakeup】

「Enable touch wakeup」を有効にすると、画面タッチでスリープ状態から復帰することができます。



出荷時のデフォルト設定では本機天面の EXIT ボタンでスリープモードから復帰します。

1. 「設定」→「システム」→「Digital signage options」をタップします。
2. 「Enable touch wakeup」をタップすると、切り替えバーがスライドし、設定が変わります。

Enable touch wakeup



切り替えバー	バーの色	復帰する方法
	青	画面タッチによる復帰が有効
	グレー	画面タッチによる復帰が無効 * 出荷時設定

画面のキャプチャ【Screenshot】

「Screenshot」を使うとタブレットの画面領域全体を画像として保存できます。画面をキャプチャするには2種類の方法があります。

■「Screenshot 設定」の有効化

1. 「設定」→「Screenshot」をタップします。
2. 「Show the screenshot button in the statusbar」をタップして、スライドバーを切り替えます。

Show the screenshot button in the statusbar



切り替えバー	バーの色	復帰する方法
	青	NavigationBar にスクリーンショットボタンを表示します。
	グレー	NavigationBar からスクリーンショットボタンを非表示にします。

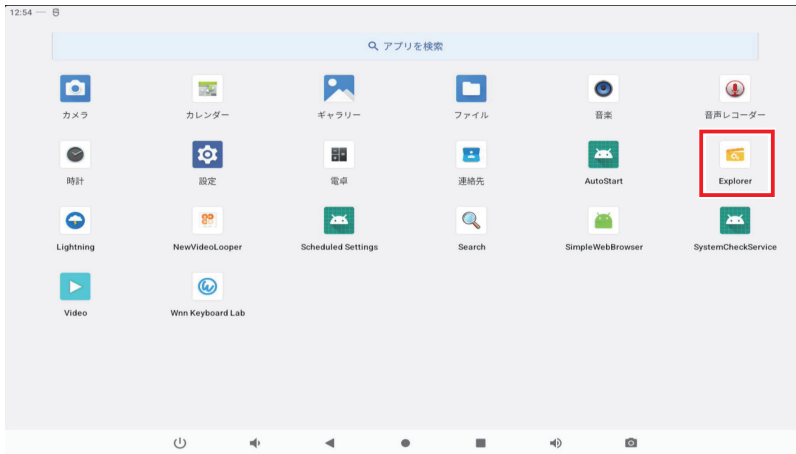
3. NavigationBar に右下にボタン (📷) が表示されます。画面の左下のボタン (📷) をタップすると、画面領域全体が PNG 形式で保存されます。



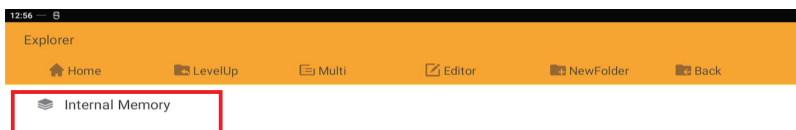
「Screenshot 設定」を無効にするには、「Show the screenshot button in the statusbar」をタップして切り替えバーをスライドさせてください。

保存したキャプチャ画像の確認

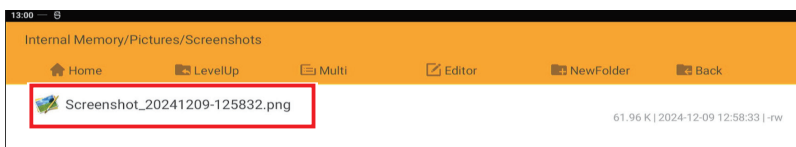
1. ホーム画面で画面をしたからスワイプすると、ランチャー画面が表示されます。
2. 「Explorer」をタップします。



3. 「Internal Memory」フォルダをタップします。



4. 「Pictures」 → 「Screenshots」フォルダをタップします。



保存したキャプチャ画像の一覧が表示されます。



メモ

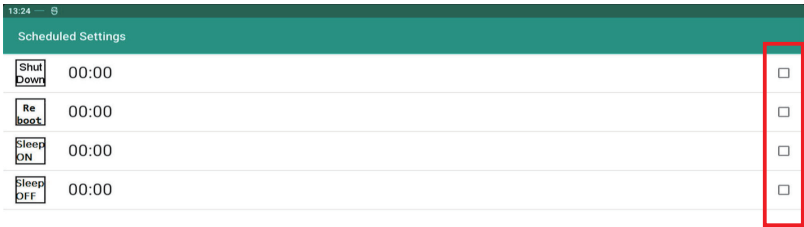
- ・データは「Internal Memory/Pictures/Screenshots/」に保存されます。
- ・画像データは「Screenshot_yyyymmdd（年月日）-hhmmss（時分秒）.png」の名前で保存されます。

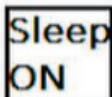
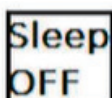
時刻を指定した本機のコントロール【Schedule Setting】

指定した時刻に本機をシャットダウン、再起動、スリープモードの ON / OFF させることができます。時刻や繰り返しの設定は次の手順で行います。

動作の選択【Schedule 機能】

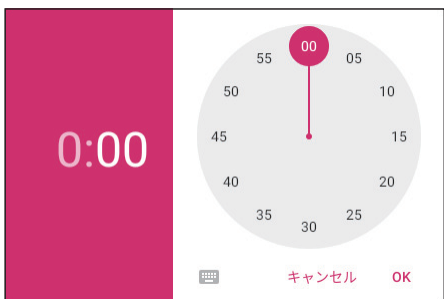
- 1. 「設定」→「システム」→「Digital signage options」→「Schedule」をタップします。
- 2. 設定したい動作のチェックボックスをタップします。



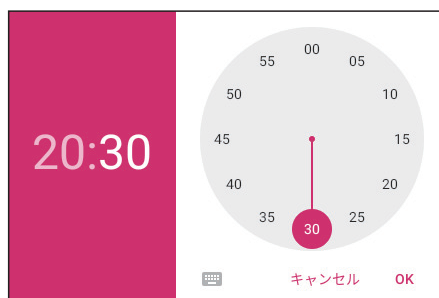
アイコン	概要
	指定した時刻にシャットダウンします。
	指定した時刻に再起動します。
	指定した時刻にスリープモードに切り替わります
	指定した時刻にスリープモードから復帰します。

動作時刻の設定【Time】

1. 「Schedule」画面で設定したい動作のアイコンをタップします。
2. 「Time」をタップします。
3. 設定したい時刻をタップします。

設定画面	設定
	24 時間制で時刻を指定します。 外周：1 ～ 12(1:00 ～ 12:59) 内周：13 ～ 00(13:00 ～ 00:59)
	分を設定します。 00 ～ 59

たとえば、20:30 に設定したときは次のようになります。



4. 「OK」をタップします。



注意

「Sleep ON」と「Sleep OFF」を同時刻に設定することはできません。エラーメッセージが表示されますので、時刻の設定をやり直してください。



メモ

「Sleep OFF」で設定した時刻よりも前にスリープ状態から復帰するには EXIT ボタンを押します。画面タッチで復帰する方法は、「スリープ状態からの復帰方法の設定」(p.26)を参照してください。

動作の繰り返し設定【Repeat】

1. 「Schedule」画面で設定したい動作のアイコンをタップします。
2. 「Repeat」をタップします。
3. 動作を実行します。曜日を選択し、「OK」をタップします。曜日は複数選択することができます。

設定が解除されるまで、毎週設定された曜日に選択された動作が実行されます。



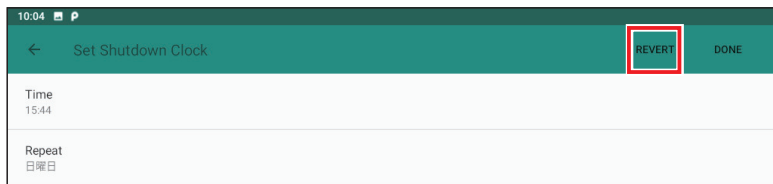
The image shows a dialog box titled "Repeat". It contains a list of days of the week, each with an unchecked checkbox: 月曜日 (Monday), 火曜日 (Tuesday), 水曜日 (Wednesday), 木曜日 (Thursday), 金曜日 (Friday), 土曜日 (Saturday), and 日曜日 (Sunday). A red rectangular box highlights the entire list of days. At the bottom right of the dialog, there are two buttons: "キャンセル" (Cancel) and "OK". The "OK" button is also highlighted with a red rectangular box.

曜日を選択していない場合は「Never」と表示されます。Never の時は時刻が設定されていても、そのタスクは実行されません。

4. 画面右上の「DONE」をタップします。

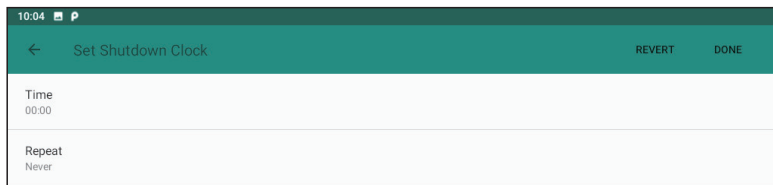
時刻と繰り返しの設定のリセット

1. 画面右上の「REVERT」をタップします。



The image shows the "Set Shutdown Clock" screen. At the top, there is a status bar with the time "10:04". Below it, a teal header bar contains a back arrow, the title "Set Shutdown Clock", and two buttons: "REVERT" and "DONE". The "REVERT" button is highlighted with a red rectangular box. The main content area has two sections: "Time" with the value "15:44" and "Repeat" with the value "日曜日" (Sunday).

設定されていた動作と時刻の設定がリセットされます。



The image shows the "Set Shutdown Clock" screen after the reset. The status bar still shows "10:04". The teal header bar now has the back arrow, the title "Set Shutdown Clock", and the buttons "REVERT" and "DONE". The main content area has two sections: "Time" with the value "00:00" and "Repeat" with the value "Never".

アプリケーションの自動起動【Auto Start Application】

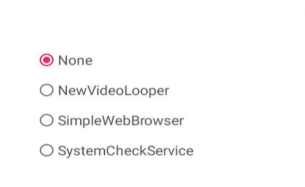
指定したアプリケーションを OS 起動後に自動的に起動させることができます。

動作の選択【Auto Start Application 機能】

1. 「設定」→「システム」→「Digital signage options」→「Auto Start Application」をタップします。
2. Start App をタップします。



3. アプリケーション一覧が表示されるので、OS 起動後に自動起動させるアプリケーションを選択します。



4. 登録されると右側にアプリケーション名が表示されます。



メモ

自動起動設定を無効する場合は、「None」を選択してください。

ユーザーのボタン操作の無効化【Enable Physical Buttons】

「Enable Physical Buttons」を無効にすると、本体天面の EXIT ボタン、上下ボタン、ボリュームボタンの操作が無効にできます。「Enable Physical Buttons」を無効にするには次の手順で設定します。

「Enable Physical Buttons」の無効化

- 1. 「設定」→「システム」→「Digital signage options」をタップします。
- 2. 「Enable Physical Buttons」をタップします。
切り替えバーが左にスライドし、「Enable Physical Buttons」が無効になります。



切り替えバー	バーの色	Enable Physical Buttons
	青	ボタン操作有効 * 出荷時設定
	グレー	ボタン操作無効

画面タッチ操作の無効化【Enable touch panel function】

「Enable touch panel function」を無効にすると、画面のタッチ操作が無効にできます。

「Enable touch panel function」の無効化

1. 「設定」→「システム」→「Digital signage options」をタップします。
2. 「Enable touch panel function」をタップします。
切り替えバーが左にスライドし「Enable touch panel function」が無効になります。

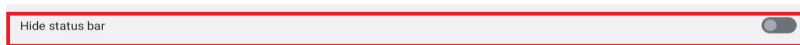
切り替えバー	バーの色	Enable touch panel function
	青	タッチ操作有効 * 出荷時設定
	グレー	タッチ操作無効

フルスクリーンモードを有効にする【Hide Status Bar 機能】

「Hide Status Bar 機能」を有効にすると、システムバー（Status bar、Navigation bar、クイック設定パネル）が非表示になり、フルスクリーンモードになります。「Hide Status Bar 機能」を有効にするには、次の手順で設定します。

「Hide Status Bar 機能」の有効化

1. 「設定」→「ディスプレイ」をタップします。
2. 「Hide Status Bar」をタップします。



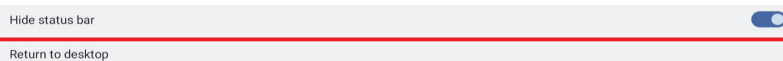
切り替えバーが右にスライドし、「Hide Status Bar 機能」が有効になります。

切り替えバー	バーの色	Hide Status Bar 機能
	青	有効（システムバー非表示）
	グレー	無効（システムバー表示）



メモ

- ・「Hide Status Bar 機能」が有効のときは EXIT ボタンを押して前の画面に戻ります。
- ・「Return To Desktop」をタップするとホーム画面に戻ります。



画面の向き（縦画面・横画面）の設定【画面固定の設定】

設定によって、画面の向きを縦画面・横画面に固定することができます。切り替えは次の手順で設定します。

画面の向き（縦画面・横画面）の設定

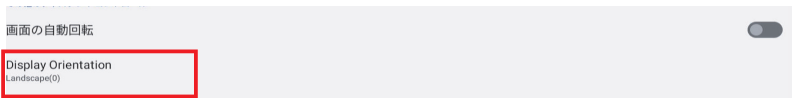
固定したときの画面の向きの設定



出荷時のデフォルト設定は「横画面 (Landscape)」です。

メモ

- 1. 「設定」→「ディスプレイ」をタップします。
- 2. 「Display Orientation」をタップします。



- 3. Display Orientation メニューが表示されるので、固定したい画面の向きを指定します。

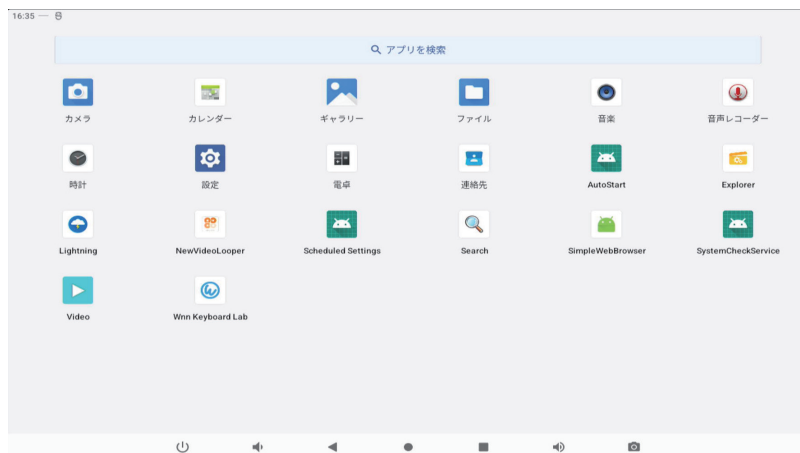


項目	画面の向き
Landscape(0)	横画面
Portrait CW(90)	縦画面（右回転）
Reverse Landscape(180)	横画面（180 度回転）
Portrait CCW(27)	縦画面（左回転）

5. アプリケーションを使用する

インストールされているアプリケーション

本製品は Android 12.0 を搭載しています。次のアプリケーションが出荷時にインストールされています。



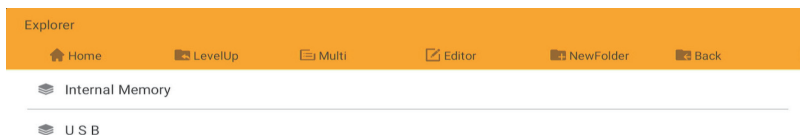
分類	ソフトウェア名称	バージョン	概要	参照
標準 アプリ	カメラ	1.0.18	静止画や動画を撮影します。	
	カレンダー	12	スケジュール管理ができます。	
	ギャラリー	1.1.40030	静止画や動画の閲覧／整理ができます。	
	ファイル	12	ダウンロードしたファイルを表示します。	
	音楽	12	音声データを再生します。	
	音声レコーダー	12	音声データを録音します。	
	時計	12	日時表示、及び、アラームの設定ができます。	
	設定	12	端末の各種設定を行います。	
	電卓	12	数値演算、関数演算ができます。	
	連絡先	1.7.33	電話番号、メールアドレス等を管理します。	
追加 アプリ	AutoStart	1.5a_for_11		
	Explorer	20211123	アプリケーションの追加・ファイルの管理ができます。	p.36
	Lightning	4.4.2	ブラウザを使用してウェブページを閲覧できます。	
	NewVideoLooper	2.2.9f	動画再生を全画面で表示します。	p. 38
	Quickstep	12		
	Scheduled Settings	1.0.2.4		
	Search	12		
	SimpleWebBrowser	1.9.5b_logitec	Web ブラウザを全画面で表示します。	p. 41
	SystemCheckService	1.0		
	Video	3.5-20220208-8.0	簡単な動画編集を行います。	
	Wnn Keyboard Lab	Lab-250	日本語入力	

アプリケーションの追加

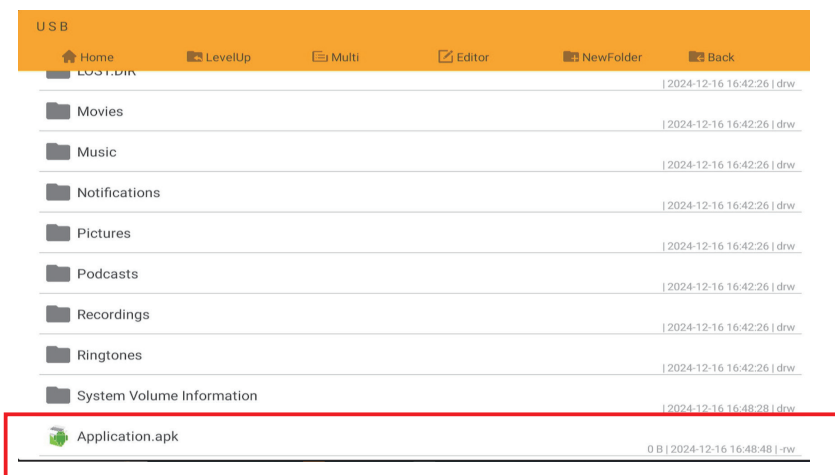
USB メモリまたは SD カード経由でアプリケーションを追加します。

USB メモリまたは SD カードに保存したアプリケーションの追加

1. USB メモリまたは SD カードを本機に接続します。
2. ホーム画面をしたからスワイプしてランチャー画面を表示します。
3. 「Explorer」をタップします。Explorer アプリが起動します。

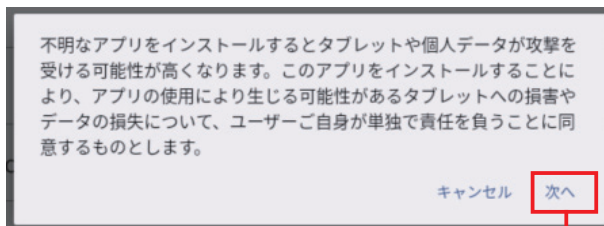


4. アプリケーションファイル (apk ファイル) の格納場所へ移動し、apk ファイルをタップし、インストールを開始します。

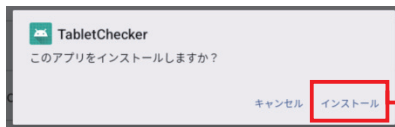


アプリケーションファイル (*.apk 形式) をタップします。

5. インストーラーの指示に従い、インストールを進めます。

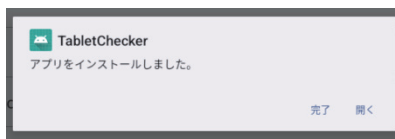


「次へ」をタップします。



「インストール」をタップします。

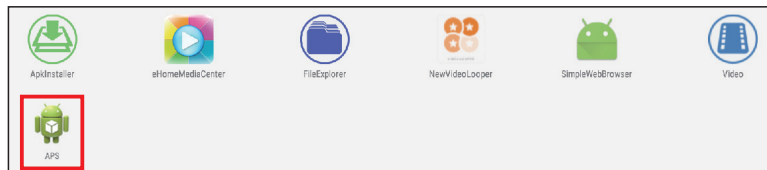
6. アプリケーションが追加されます。「完了」または「開く」をタップします。「開く」をタップすると、追加したアプリケーションがそのまま起動します。



インストールしたアプリケーションはランチャー画面に追加されます。



メモ



動画コンテンツを全画面で連続再生【NewVideoLooper】

「NewVideoLooper」は動画コンテンツもしくは画像ファイルを全画面で連続再生するためのアプリケーションです。SD カードに動画コンテンツもしくは画像ファイルをコピーすることで本機の起動と同時に再生させることができます。

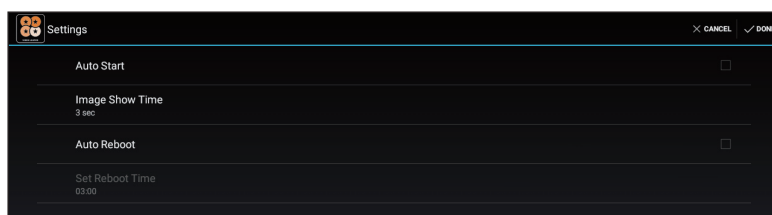
「NewVideoLooper」の設定の準備

1. SD カードのルートディレクトリに「CONTENT」フォルダを作成します。
2. 「CONTENT」フォルダに動画ファイルもしくは画像ファイルをコピーします。
3. SD カードを本体に装着します。

「NewVideoLooper」の設定

1. ランチャーアイコンをタップします。
2. 「NewVideoLooper」をタップします。

設定画面が表示されます。

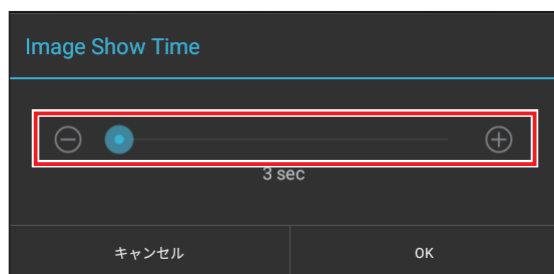


項目	概要	デフォルト
Auto Start	電源 ON（OS 起動）と同時に動画再生を開始します。	無効
Image Show Time	静止画像の表示時間を設定します。	3 sec
Auto Reboot	定時刻に本体を再起動します。	無効
Set Reboot Time	再起動する時刻を設定します。	無効



「Image Show Time」で設定できる値は 3 秒～ 120 秒です。

メモ



3. 設定画面右上の **✓ DONE** をタップします。

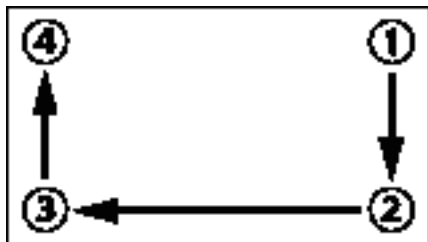
CONTENT フォルダのコンテンツが全画面で再生されます。



動画コンテンツ再生イメージ

NewVideoLooper の終了

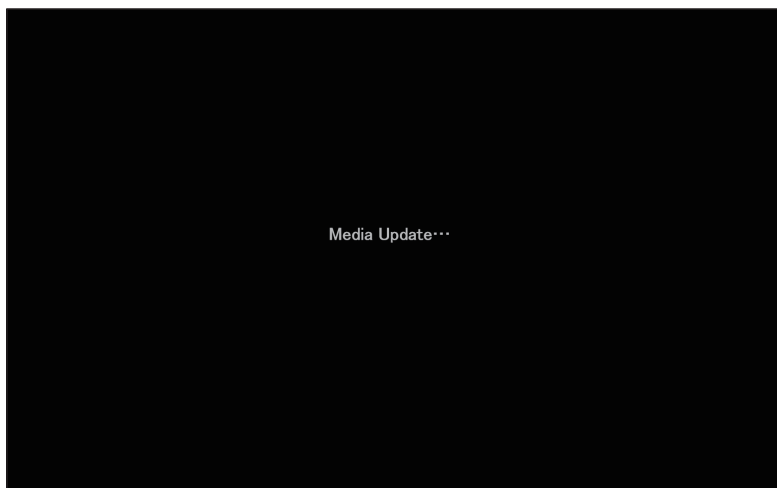
NewVideoLooper を終了するときは、画面を下の図の順にマウスをドラッグします。それぞれ画面の角に沿ってゆっくりドラッグしてください。



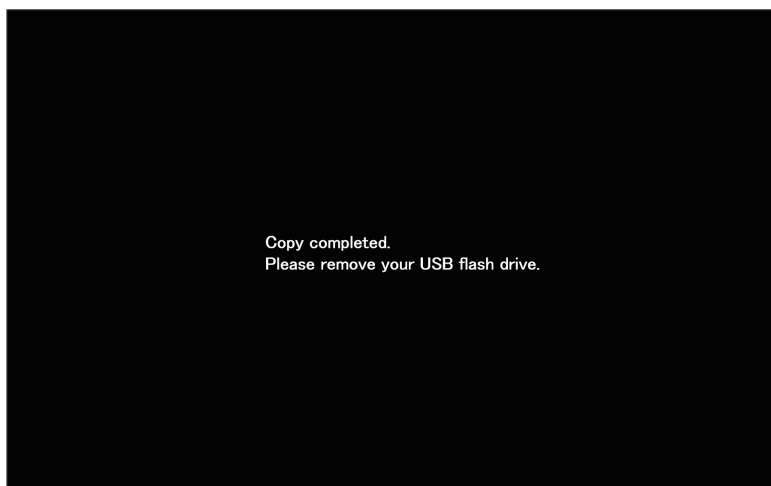
動画コンテンツを更新します。

1. “updatemedia=yes” を記述したテキストファイル「userinfo.txt」を作成します。
2. USB メモリのルートディレクトリに「userinfo.txt」と最新の動画ファイルまたは画像ファイルをコピーします。

3. USB メモリを本機に装着し、「NewVideoLooper」を起動します。
USB メモリに保存したファイルがカードにコピーされます。



動画ファイルまたは画像ファイルの更新が完了します。



4. USB メモリを外す

Web ブラウザの全画面表示【SimpleWebBrowser】

「SimpleWebBrowser」は Web ブラウザを全画面で表示するアプリケーションです。表示する URL を指定して、電源 ON（OS の起動）と同時に Web ブラウザを表示できます。

「SimpleWebBrowser」の設定

1. ランチャーアイコンをタップします。
2. 「SimpleWebBrowser」をタップします。



出荷時はデフォルトで次のページが表示されるように設定されています。

<https://pc.logitec.co.jp/>

メモ

3. ディスプレイ左上の角を 8 秒以上長押しします。

8 秒以上長押しします。



重要

ディスプレイに対して垂直に力が加わるように長押ししてください。センサーが正しく反応しない場合があります。

URL 入力フォーム

<http://pc.logitec.co.jp/>

Settings

Edit Security

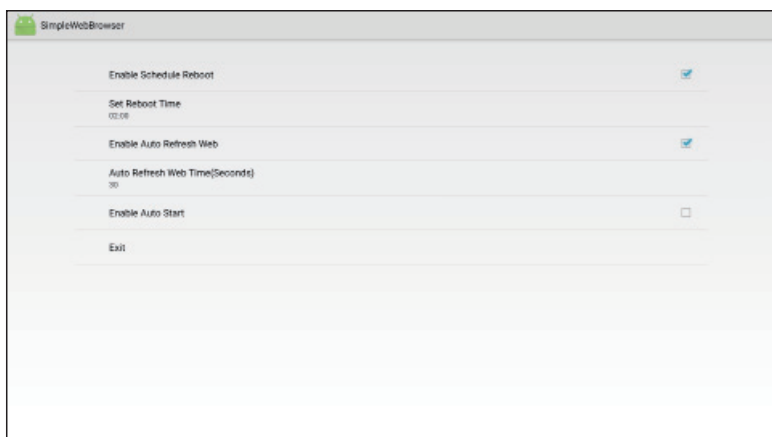
URL 入力フォーム、「Settings」、「Edit Security」が表示されます。

項目	概要
URL 入力フォーム	Web ブラウザを立ち上げたときに表示したい Web サイトの URL を設定します。
Settings	SimpleWebBrowser の各種設定を行います
Edit Security	SimpleWebBrowser の各種設定を行うためのパスワードを管理します。

■ URL の指定

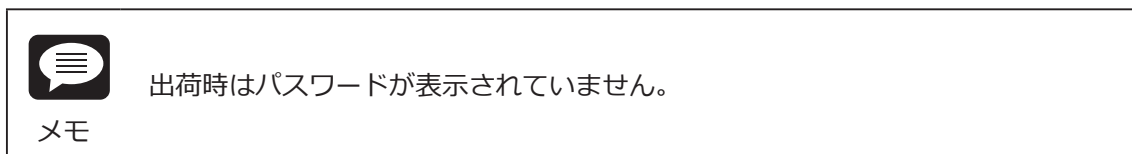
Web ブラウザを立ち上げたときに表示したい Web サイトの URL をフォームに入力します。

■ Settings

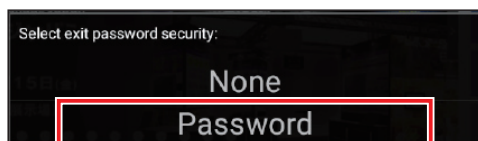


項目	概要	デフォルト
Enable Schedule Time	指定した時刻に再起動します。	有効
Set Reboot Time	再起動する時刻を設定します。	02 :00
Enable Auto Refresh Web	ページの自動更新を有効にします。	有効
Auto Refresh Time(Seconds)	自動更新する時間を秒単位で指定します。	30
Enable Auto Start	電源 ON（OS 起動）と同時に、Web ブラウザを表示します。	無効
Exit	Web ブラウザのページに戻ります	-

■ Edit Security



1. 「Password」 をタップします。



2. 設定したいパスワードを入力します。
3. 確認のためにもう一度同じパスワードを入力します。

4. 「Submit」をタップします。

SimpleWebBrowser の各種設定を行うためのパスワードが登録されます。

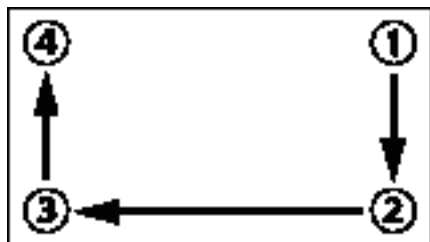


「SimpleWebBrowser」の設定を行うとき・アプリを終了するときパスワードの入力が求められます。

メモ

SimpleWebBrowser の終了

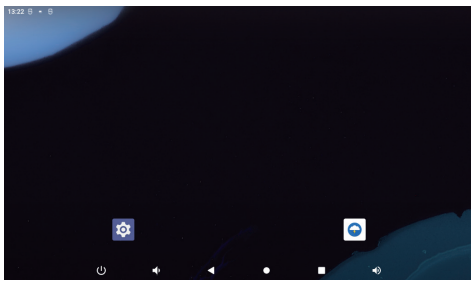
SimpleWebBrowser を終了するときは、画面を下図の順にマウスをドラッグします。それぞれ画面の角に沿ってゆっくりドラッグしてください。



SimpleWebBrowser を起動すると、自動的に「Hide Status Bar 機能」(p.31) が有効になり、システムバー (Status bar、Navigation bar、クイック設定パネル) が非表示になります。前画面に戻るには EXIT ボタンを押します。

メモ

6. トラブルシューティング

問題	対応
液晶モニタの端に変色部位がある。	 LT-H0307C 出荷時壁紙 本製品出荷時のホーム画面の壁紙は上記の様なデザインになっています。液晶自体にムラや変色があるかを確認するには、ギャラリー等で白い画像、黒い画像を表示して確認してください。
USB メモリが認識しない	exFAT でフォーマットされた USB メモリは認識できません。他の PC でデータをバックアップした後にフォーマットしてください。

7. 仕様

製品仕様

項目		LT-H0307C
ディスプレイ	画面サイズ	7 型
	解像度	WSVGA (1024 × 600)
	輝度	350cd/m ²
	視野角	左右各 80°、上下各 80°
	タッチパネル	静電容量方式 5 点マルチタッチ
OS		Android 12
CPU		Rockchip RK3568 (最大 2.0GHz、4 コア)
メインメモリ		4GB SDRAM
ストレージ容量		16GB eMMC (ユーザー使用可能領域 約 10GB)
インターフェース	USB	USB2.0 (Type-A) × 1
		USB2.0 (micro-B) × 1 OTG 対応
	サウンド関連	ヘッドフォン / ヘッドフォンマイク ジャック × 1
	シリアル	－
通信機能	有線 LAN	10/100/1000Mbps (RJ45 × 1)
	無線 LAN	IEEE802.11 a/b/g/n/ac (2.4GHz/5GHz)
	Bluetooth	Bluetooth 5.2 (Class2)
メモリーカードスロット		SD/SDHC/SDXC カードスロット × 1 (最大 32GB)
内蔵カメラ		－
内蔵マイク		コンデンサマイク × 1
センサー		－
内蔵バッテリー		－ (非搭載)
電源 (AC アダプタ)	入力	AC100-240V 50/60Hz
	出力	DC12V 2A
	PoE 機能	なし
消費電力		9.5W
動作環境	動作時	温度 : 0℃ ~40℃、湿度 : 10%~85%
	非動作時	温度 : -10℃ ~50℃、湿度 : 10%~85%
取付穴配置		75 × 48mm
外形寸法 (本体のみ)		188 × 120 × 24.5mm
質量 (本体のみ)		350g
付属品		AC アダプタ

※ Android は Google LLC の商標です。

※その他、本書に記載されている商品名 / 社名などは一般に商標ならびに登録商標です。

Logitech LT-H0307C シリーズ・ユーザーズマニュアル

2025 年 7 月 1 版 LT-H0307C_Manual V01

製造元：ロジテック INA ソリューションズ株式会社

66003182 LT-H0307C_Manual V01